



7月 たんぽぽだより



2025. 7. 1

梅雨があっという間になくなったかのような暑い日が続いています。6月は雨が降った日は製作をしたり、室内で体を動かして遊びました。製作では、かたつむりやアジサイを絵の具でスタンプ遊び、花紙をクシュクシュと丸めて貼って楽しみました。また雨を表現しようとスズランテープを割いてみたり、子どもたちが好きな作業を主に遊ぶことができました。ビリビリと割く感触や、クシュクシュと丸める面白さを感じてくれました。そして壁に作った作品を飾ると「ビリビリシタヨ」「デンデン！」と自分たちの作った物を指さして保護者の方に見てほしい！と朝タアピールする姿もありました。日々子どもたちが遊んだ内容を知ってもらい、共感してもらえる喜びを子どもたちも嬉しく感じているようです。7月は、絵の具や感触あそび、どろんこあそびなど、子どもたちにとっても貴重な体験が出来ることが多くあります。なかなか家庭ではできない経験を重ね、子どもたちが「今日も面白かった」と思えるように楽しんでいきたいと思います。その中で、お洗濯が増えることや、毎日泥んこの服やシャワータオルをご用意していただくことが多くなります。毎日大変かと思いますが、子どもたちが遊びに参加できるように、ご準備よろしくお願い致します。

た1：自分のコップ嬉しいな

た1の、お友だちは今まで園のコップを使用していましたが、6月から自分のコップを持っています。給食袋からコップを出す、片づけるなど1つずつ頑張っています。自分のコップが嬉しくて早く出したい！気持ちがありますが、エプロンをつけて手を拭いて…と食前の準備を飛ばしてしまうこともあります。保育者と一緒にカバンのチャックを開けることや準備をする中で1つ1つの動作を知ってもらえたらと思っています。

た2：つぼみに引っ越し

つぼみの部屋に興味津々な子どもたち。扉を開けて遊びに行ける日が嬉しくて交流の日は自分でカゴを持ってつぼみの部屋に遊びに行っていました。棚のあそびも、とことこの物とはまた違って「今日はなにしよう？」と次々手にして遊んでいます。給食はポップフロアーで食べる特別感に嬉しくてご飯の時間になるとウキウキしています。これからつぼみの部屋をたくさん探索しながら楽しんでくれたらいいなと思っています。

た3：ズボンを自分で履いてみよう

衣服の着脱に興味を持ち始め、自分でパンツやズボンを履こうと引っ張り上げることを頑張っています。まだまだ保育者に手伝ってもらいながらですが、ゴム部分を持って上げる動作を少しずつ自分でやってみようとしています。最近はトレーニングパンツを履いて過ごすようになり、嬉しさもあって挑戦しようとする姿が増えています。た4のお友だちが来てくれて、ちょっとお兄さん、お姉さんの気持ちが芽生えてきているかな？

た4：みんなといっしょに

とことこへ興味はあるけれどドキドキして涙を流す日もありましたが少しずつ慣れてくれ今では、とことこの部屋に来ると「みんな何しているの？」と興味津々。みんながしていることを同じように触ってみたり真似したりと活発に過ごしてくれています。オマルに座りながらトイレが見えて「あそこには何があるのかな？」と色々なことに目が向いています。とことこの生活をこれから楽しんでくれたらいいな！

